

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

神経細胞由来エクソソームの A β 除去機能

北海道大学大学院 先端生命科学研究院
次世代ポストゲノム研究センター 生体機能化学研究室

湯山 耕平 先生

平成 27 年 1 月 27 日(火) 午後 4 時 00 分～
第 1 研究棟 2 階 小会議室

細胞外膜小胞群のうちエンドソーム膜を由来とするエクソソームは、細胞間で送受され種々の分子の輸送体として機能している。我々は、神経細胞由来エクソソームにスフィンゴ糖脂質を介して A β が結合することを見出した。この結合 A β はミクログリアに取り込まれ分解されることから、エクソソームは A β 除去機能を有する可能性がある。実際 APP Tg マウス脳へのエクソソーム投与で A β 濃度の低下が観察された。

本セミナーでは、モデル動物脳におけるエクソソーム量の加齢変動も紹介し、エクソソームのアルツハイマー病病態への関与について議論したい。

連絡先: 認知症先進医療開発センター
センター長 柳澤勝彦(内線 6500)